

先手必勝！！農業・農村の未来を培う人材育成

てが しげん まも かい
手賀・資源を守る会（行方市）

1 活動組織の概要

取組開始年度	平成 19 年度
組織構成	8 集落、農業者 191 名、営農組合、自治会、子供会、土地改良区、JA、小学校ほか
支払区分	農地維持支払、資源向上支払（共同活動、長寿命化）
対象農用地	146.0ha（田 137.0ha, 畑 9.0ha）
対象施設	開水路 34.4km、農道 4.0 km、ため池 8 ヶ所
交付金額（R3）	10,206 千円



水路の共同草刈り



地域住民による泥上げ作業

2 主な活動内容

準備点検	計画・啓発	実践活動
<ul style="list-style-type: none"> 施設の点検、機能診断（4月） 遊休農地発生状況調査（4月） 	<ul style="list-style-type: none"> 年度活動計画の策定（4月） 意見交換会（8月） 	<ul style="list-style-type: none"> 水路、法面の草刈り（5～7月、10～11月、3月） 水路の泥上げ（4月、10月、2月） 用水施設の機能診断、保守（4月） 田植え体験、稲刈り体験（5月、10月） 生き物調査、水質調査（7月）

3 地域の状況と取り組みへのきっかけ

- ・本地域は行方市の北西部に位置する霞ヶ浦沿岸の水田地帯です。
- ・農業者の高齢化や後継者不足に伴い、農地や農業用施設を継続的に保守管理できる体制を整えるために、平成 19 年度から取り組みを開始しました。

4 特徴的な取組

- ・子供会と連携した「田んぼの調査隊」と称した生き物・水質調査を実施し、地域住民との交流を図るとともに、地域の農村環境への幅広い理解に繋がっています。
- ・小学校と連携して、田植え体験、稲刈り体験を行うだけでなく、収穫した米を学校へ提供し、地域一体となった食育に取り組んでいます。
- ・「なめがたエリアテレビ(※)」を活用し、市内へ農村環境保全の取組をPRしています。

(※)行方市が運営している市内全域で視聴可能な防災対応型エリア放送



「田んぼの調査隊」は親子参加型で開催され、夏休みの恒例行事となっています



田植えや稲刈りの様子は「なめがたエリアテレビ」で複数回放送されました

5 取組の成果・効果

- ・組織設立から14年間活動する中で、当時小学生であった活動参加者が認定農業者となり、活動ほ場の提供を行うなど、新たな世代の育成に繋がっています。
- ・行政区との連携等により、組織設立から現在に至るまで、非農家を含めて9割近くの高い参加率を維持しています。
- ・また、新たに「なめがたエリアテレビ」を活用した活動PRの結果、取組面積の拡大、構成員の増員などの効果がありました。
- ・地域に根差した活動を長期的に継続することで「自分たちのふるさと自分たちで守る」意識が自然と高まったと感じています。